

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく健い人間にならましよう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。

奈良はのびのびと、市民の創意で、傳統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。

# 奈良市民だより

No. 285

市民のうごき  
(昭和48年11月15日現在)

人口	240,388人	(1097)
男	116,776	(559)
女	123,612	(538)
世帯数	73,969	(399)

## 新平城京のまちづくりへ

### 三笠中学、まず新築移転



完成した三笠中学校の新校舎

#### 充実した規模 先月授業始める

奈良市が「新平城京のまちづくり」の第一着手として、建設をすすめてきた市立三笠中学校(中井信政校長、生徒千三百七十七人)の新校舎がさきほど完成し、十一月十六日から新校舎で授業を始めました。

新しく完成した校舎は、三条通り南側で佐保川西沿いの市内三条川西町にことし一月から建築していたもので、鉄筋コンクリート四階建て三むね、延べ床面積九千五百八十八平方(約二千七百四十四坪)。

普通教室三十六、特別教室十

#### 貴重な出土品

##### 天平の昔に帰る市庁舎

市内北新町の旧三笠中学校校舎跡地には、市庁舎の移転新築がまわっています。これに先立ち、旧運動場の南西部三千四百三十九平方(約二万七千九百三十九坪)が国立文化財研究所の手によって、ことし七月から発掘調査が行なわれてきました。すでに深井戸の遺構、緑釉瓦(りよくゆうがわら)、土器など貴重な出土品が数多く発見されています。さらに旧校舎解体後の敷地は、来春早々に第二次調査として約三千平方(約二万二千二百六十坪)の発掘が予定されており、同研究所でも奈良時代の都市構造をはじめ、市民生活、天平文化を裏づける貴重な資料がえられるものと期待しています。

この地は天平の昔、左京職があったといわれます。左京職というのは、現在の市役所と警察署とをいっしょにしたような役所です。新庁舎建築予定地の道を距てて南側にはすでに奈良警察署があり、これに向い合って市役所が建築されるのは、歴史が示す千二百六十年の輪廻(りんね)辛酉(しんゆう)の説)によるものといえましよう。



出土した緑釉瓦のかけら



水壺(やくこ)



細首壺(ほそくびつぼ)

旧三笠中学校跡地の発掘現場

出土品の埋まっていた深井戸



#### 平城京復元へ 一歩踏み出す

奈良市がいますすめている「新平城京のまちづくり」は、六年前鎌田市長が打ち出した構想で、「咲く花のにおい」がことく」栄えた平城京の昔を、新しい都市計画の中に再現し、自然のみどりと史跡を調和した公園都市づくりを進めようというものです。この構想の中心となるのが朱雀大路の復元的建設であり、今の大宮通り線を軸とする都市施設づくりがまず主眼です。

昨年提出された「平城京復原保存計画」に関する調査研究報告書(京大岸俊男教授ら十四委員)でも、朱雀大路をはさんで両側地域に条坊形式の町なみを設定して文化施設軸を配置し、大宮通り線の都市施設軸との機能的な連携をうたっています。この両軸の接点というべき位置が、こんどの新庁舎予定地というわけで、「新平城京づくり」の第一歩としてはまことにふさわしく、意義あるといえます。

朱雀大路の復元については昨年十月、当時の木村建設・稲葉文部両大臣が奈良を訪れた際、鎌田市長から構想の説明を聞き「日本人の心のふるさとである奈良のまちづくり」に、政府として全面的協力を惜しまない」と約束しました。その意向を引きついで金九前建設大臣もことし五月二十七日奈良を訪れ、政府の全面協力を約束しました。

奈良市でも今年度当初予算に朱雀大路の基本調査費一千万円を計上し、基本的な調査にとりかかっています。三笠中学校の移転につづく新庁舎の建設は「新平城京のまちづくり」に歴史的な巨歩を踏み出したことになりましよう。

#### 慶州新市長に 朴氏が就任

去る十一月三日付韓国国内の人事異動で慶州市長に朴宰煥(パク・チェファン)氏が就任されました。同氏は慶尚北道内務局長からの転任。なお金昌坤前市長は慶尚北道道産局長に栄転。

# ゴミを考えると

## 「日本一清掃された美しいまち」へ

奈良は、日本民族のふるさと——ふるさとを、いつまでも美しくしておきたいのは、みんなの願いです。市が「日本一美しいまちづくり」を施策の十大目標に取りあげたのは、この願いを一日も早く果たしたいからにはかなりません。

昨年七月、清掃部を独立させ、十一月には清美課を新設して従来の家庭ゴミの処理業務とは別に、まちの清掃業務に乗り出しました。ことし四月には清美課に清美機動班を編成して、市内主要道路や公園・広場・河川など今までの手届かぬ場所へ出動、近代的な装備によるゴミ退治に積極的に取り組み、一方ではゴミの不法投棄を監視し取締まるゲーターの役割も果たしています。機動班発足から七カ月、十月末現在までに処理したゴミ量は二千八百八十二トニなり、このうち約八〇%（一、七五二・五ト）が不法投棄のゴミで、残り四二九・五トは、自治会や町内の人が自発的に清掃したゴミや刈り取った雑草などとなっています。

このように、昼夜兼行のゴミ退治にもかかわらず、なおゴミの姿は奈良のまちから消えようとはしません。ゴミ戦争は、清掃する側と、ゴミをつくり捨てる側との、終末のないイタチごっこで、行政の力には限界があります。

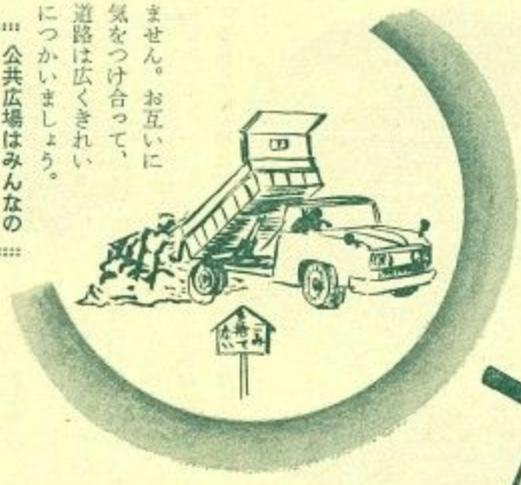
## ゴミとのイタチごっこを切るために 24万の市民運動展開

そこで市では、「まちを美しくする運動」を提唱し、二十四万市民みなさんの協力によって、民族のふるさとである奈良を、美しく保つていこうと考えました。気持ちよい環境の中で、みんなが心ゆく生活を楽しむためには、みんながその気持ちになり、家庭で、グループで、地域社会の中で、考え、話し合い、力を合わせていただく——つまり一人ひとりがゴミ戦争の闘士になっていただくことが、出発しなければならぬのではないのでしょうか。こうしてこそ、イタチごっこに終止符を打つことができようとい



うと呼びかけています。この「まちを美しくする運動」に対する市民みなさんの関心は非常に強く、さきの市政についての世論調査でも、この運動の推進を支持する人が全体

にするなどは、美観をそこね交通を妨げ、国際文化観光都市の市民のすることではあり



ゴミ不法投棄 見つけたらさっそく 電話 33-2074 番へ

前に市清美課（電話二〇七四番）に相談してください。あなたの家のまわりは、あなたの手できれいに

一軒一軒のまわりがきれいになれば、まち全体がきれいになります。早起き運動の効果を生かしましょう。道路は、広くきれいに使いましょ

道路は、広くきれいに使いましょ。公共広場はみんなのもの、みんなできれいに

公共広場はみんなの憩いの場——公園はみんなの心がけで、共広場はみんなの心がけで、いつもきれいにしましょう。駅前広場はまちの玄関、公

## もうごめんだ！ 使いすて時代

### かしこい消費生活進めよう

民族のふるさと奈良を、日本一清掃された美しいまちとして、住みよい環境を保つていくために、いままで述べたいろいろな方法が考えられます。わたしたちの身近なところからゴミを減らし、なくしていくかというところに帰一すると思われま

どというコミンヤルに譲らされて、つかい捨てのあだ花が今や花盛り。これが深刻な、ゴミ戦争、を引き起こす結果となり、ムダがムダを呼ぶことになりました。このころに、奈良市の今年度一般会計（当初予算総額一三六億一〇〇万円）のうちゴミ処理に要する費用は六億三三〇六万円、五割近くも占めております。これを同じく市民税（個人）歳入予算と提唱し、つぎのような、ケ

①まだ、何かに使えないだろうか？ 捨てる前にちょっと考えましよう。まだ何か使い道はないだろうか。再利用へまわすアはないか。電気製品などは下取りもしてくれま

（一七億一四四三万円）に近づくと、その四分の一近くを占めることになりま

す。しかも、これが年々急増の傾向にあります。石油・電力不足から、つかい捨て時代、に強力なストッブがかけられようとしています。いまこの時に、わたしたちも足もとを見つめ、ゴミをもう一度考え直してはいかがでしょうか。そこで市では

②ゴミまで買わされていませんか？ ショッピングで、ムダな包装はことわりましよう。家庭ゴミをふやすだけのものにお金を払うばかばかし

③売れるものまで捨てていないだろうか？ 廃品回収業者に相談ましよう。このころは、業者がよるこんで買ってくれるものもあまいます。自治会などでまとめて売ると、さらに有利です。

④紙類・新聞紙、雑誌、ダンボール、書籍など、紙類なら大で売れます。ダンボールはたたんで整理し、紙は同質のものをまとめておくと有利です。

⑤布類・ふとん、衣類、はぎれなど、布類はほとんどが売れます。

⑥金属類・せんたく機、冷蔵庫、炊飯器、ストーブなど電気・ガス器具の類。そのほか自転車、三輪車、鉄棒、ぶらんこなど金属類一般。ビン類——一升ビン、ビールビン、はちまろんジュースや牛乳のビンなど雑ビンもほとんど売れます。

⑦おこたわり 十一月十五日号掲載の「十一月一日付人事異動」での堀川善弘民生部長は援護年金課長事務取扱い兼務です。

- 【月間】歳末すけあい運動
- 1日（土）
    - ・全国同和教育研究会（～3日、中央体育館）
    - ・軟式野球市長杯戦（9・16日も、市営球場）
    - ・立命館大学法律相談所（市庁舎別館）
  - 3日（月）
    - ・被保護家庭・施設などへ歳末見舞金贈る（～7日）
    - ・六条小学校舎・体育館ほか、同幼稚園の完工式
  - 4日（火）第25回人権週間（～10日）
  - 6日（木）
    - ・青少年中堅リーダー研究集会（13日も、高円公民館）
  - 9日（日）
    - ・花の市（行基噴水広場・西部公民館横広場）
    - ・西奈良地区婦人バレーボールリーグ戦（中央体育館）
    - ・辰市小学校体育館完工式
  - 10日（月）
    - ・戦没者遺族（3800世帯）独り住いの保護家庭（60世帯）の歳末慰問（～15日）
  - 11日（火）
    - ・子ども会育成指導者研修会（勤労青少年ホーム）
    - ・文化財パトロール
  - 13日（木）
    - ・ボランティアリーダー初級養成講座（青少年児童会館）
  - 15日（土）年賀郵便特別取扱い（～28日）春日若宮おんまつり（～17日）
    - ・市民スポーツ開放日（～16日、中央体育館）
  - 16日（日）家庭の日
    - ・ジュニアリーダー養成講習会（高円公民館）
  - 17日（月）
    - ・被保護家庭へ五徳みそ贈る（～21日）
  - 18日（火）
    - ・おんまつり奉納相撲（奈良公園文化財研究所横広場）
  - 20日（木）
    - ・ボランティアリーダー中級養成講座（青少年児童会館）
  - 22日（土）冬至
    - ・幼稚園終業式
  - 23日（日）
    - ・市民卓球大会（中央体育館）
  - 24日（月）
    - ・歳末消防特別総合訓練（二名町、西奈良中央病院）
  - 25日（火）クリスマス
    - ・小・中・高校終業式
    - ・文化財パトロール
  - 28日（金）官公署ご用納め
  - 29日（土）
    - ・歳末消防特別警戒（～30日）
  - 31日（月）大みそか・除夜祭



行事予定

### 下水道処理区域ひろがる

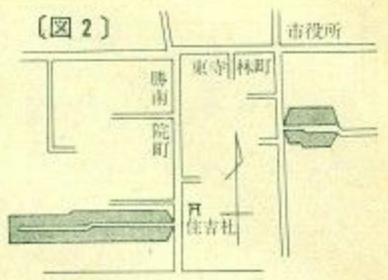
市の公共下水道事業がすすみ、つぎの三町の各一部(図のAミ目部分)が十一月七日から処理可能区域となりまし。対象三十五戸が水洗便所を使用するわけで、これで処理



可能戸数は全市一万三千五百四十五戸になります。

【図1】 高天町

【図2】 勝南院町、東寺林町



### トンガの王様

奈良の秋を楽しむ



トンガ国王夫妻(春日大社で七五三祝いの子らと)

身長二尺、体重百八十キで、世界一大きな王様。といわれる南太平洋トンガ王国のタウファアハウ、ツボ四世国王夫妻が、十一月十七日奈良を訪問されました。日本トンガ協会の招きで来日されたもので、飛火野でシカ寄せを楽しまれたあと、春日大社にご参拝、七五三のおまいりに来たこともらに囲まれて、記念撮影されるなど楽しいひとときをすごされました。このあと東大寺をご見学、晩秋の大和路を満喫されました。

### 写真展

奈良の姉妹都市小浜市にカメラを向け

短期大学の写真部員が撮影した写真の作品展が十二月十四



市内をデモ行進する総決起集会の人たち

### 狭山事件裁判に市民総決起集会

狭山事件の裁判の審理が、東京高裁で十一月二十七日から再開されましたが、それに先立って同十七日、部落解放同盟奈良市協青年部主催の「奈良市民総決起集会」が午後二時半から園鉄奈良駅前で開催されました。約

二百五十人の市民が参加。市民代表により決意表明のあと、同四時から市内をデモ行進を行ない、広く市民に訴えました。狭山事件の裁判の公正化に上せる署名は、全国で百六十万を突破し、また奈良市議会でも六月三十日に「公正裁判を再び要求する決議」を満場一致で決議しています。この集会は、こういった市民の意志を結集しようとして開かれたものです。

### 家庭教育学級の合同研修会



市教育委員会が開いている「家庭教育学級の合同研修会」が十一月二十日市内大宮町市立三笠公民館で開かれました。この学級は、こどもの育成は学校と家庭教育とが

家庭教育が併行して進められなければならないとして「家庭生活の中で親が行なう教育」を社会教育活動のテーマとしてとりあげ学習しようと、昭和三十九年にはじめられたもので、ことし十一年目。いま市内に十学級があります。研修会には、全学級から百五十人が出席。鎌田市長の講話のあと、市公民館運営審議会委員直木恵美子氏の講演を聞きました。写真写真は講義する鎌田市長

### 火災ゼロに抑えましょう

いよいよ冬将軍の到来。このころは全国的に火災の発生がふえ、とくに年末にかけて火災の多発が心配されます。奈良市は「平和な家庭に火事はなし」をモットーに、予防の徹底と市民の協力によって、今年火災の発生件数を二十件以内にとどめるよう懸命の努力を重ねてきました。しかし、残念ながら十一月初旬に発生した火災で、制

市消防本部では、残る年内を火災ゼロにおさえるため「火事は出してはならない。出させてはならない」との決意に新たに、いっそう予防に努めたいとしています。これから厳寒期を迎えますが、ご家庭では暖房器具の扱いには、とくに気をつけてください。

- ①場所をよく考え、燃えやすいもののある危険なところを使わない。
- ②故障(調子のわるい)器具は専門店に修理して使う。
- ③使用方法を間違わない。
- ④火を消したあとの始末を完全に片付ける。
- ⑤外出・寝るときは、火が完全に消えているかを確かめる習慣をつけましょう。

育成連絡協議会共催の第三回子ども育成指導者研修会がつぎのように開かれます。参加者は市内在住、在勤の子ども育成指導者で費用はいりません。

▼とき 十二月十一日(火) 午後一時~三時半

▼ところ 市立勤労青少年ホーム(市内大宮町一丁目)

▼内容 子どもの会でのレクリエーション(実技指導)、楽しいゲームのもち方、チャンドルサービスのもち方

▼講師 Y.M.C.A. 主事植田修二氏

▼申し込み 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・所属子ども会名を添えて、十二月十日までにはがきか電話で市教育委員会社会教育課(市内紀寺町八二六、電話〇三三三番)へ。

十一氏から善意の小箱義金計四千六百七十五円。

同十七日 奥子守町菅原清太郎さんから和楽園へ二万円

同十八日 紀寺梅園町山崎太四郎さんからケーブルローダー一台。これは大倭安宿苑へ。▼陽戸町松島昌邦さんから老人用つえ三十本。

同十九日 都路局消印の愛の匿名定期便四万円。▼二名町街道林政郎さんから五万円。

**税の相談日**

毎月第一火曜日

午前10時~午後3時

奈良市西部出張所で

× × ×

### 和同問題 解決のために

奈良県同和教育研究会の誕生

前回は全国同和教育研究会

和同問題研究所を設置しました。これは、水平社創立以来、この同和教育研究所と県教委が共催で同和教育講習会をもつたのが促進剤となつて、同年四月二十二日、同和教育推進の組織母体となる奈良県同和教育研究会(奈同教)が結成されました。

奈同教は規約第三条において、

- ① 同和教育の内容・方法の研究ならびに実践とその成果の交流を行なう。
  - ② 同和教育に関する研究会・講習会を行なう。
  - ③ 先進地の視察と同和教育研究への支援を行なう。
  - ④ 教育諸条件整備のための要求交渉を行なう。
  - ⑤ 同和教育に関する研究資料の宣伝普及につとめる。
  - ⑥ 関係諸団体との連絡提携を行なう。
- こうして発足した奈同教は、毎年、研究大会を開催し、実践を持ち寄り研究討議を深め、同和教育の推進をはかってきています。
- 発足当初は、同和教育の重要性を認識した一部の先生が中心で、すべての先生のものとして紹介していきたく考えています。

一九五〇年(昭二五)に、奈良県は全国に先がけて「同和問題研究所」を設立し、同和問題の本質を明らかにし、誤った認識や感情を改め、同和教育を推進する合理的・計画的に促進することを目的として活動してまいりました。現在は、奈良県同和教育室と改称され(昭四二)同じく厚生部に所属しています。

